



ディスプレイデバイス部会主催 イベント報告

コンシューマ・プロダクツ部

1. JEITA ディスプレイデバイスフォーラム2013

毎年 CEATEC 期間中に JEITA ディスプレイデバイスフォーラムを開催し、最新動向の報告を行っています。2013年は、10月2日（火）に幕張メッセ国際会議場301会議室にて、～スマート社会における高精“彩”ディスプレイの期待～をテーマに、有識者の方々から4K および8K 対応ディスプレイ機器の技術や評価に関するご講演をいただきました。当日は、悪天候にもかかわらず約220名が参加されました。



会場風景



今矢部会長

アンケートでは、「内容に興味を持てた」（96%）、「説明が解りやすかった」（85%）、「プレゼン資料が良かった」（84%）、「次回も聴講したい」（89%）など好評をいただきました。

プログラム

- 主催者挨拶「JEITA ディスプレイデバイスフォーラム2013開催にあたり」
ディスプレイデバイス部会 部会長 今矢 明彦 氏（シャープ株式会社）
- 特別講演「薄型テレビの人間中心設計」
成蹊大学 窪田 悟 教授
- 最新動向「8K 超高精細映像による次世代のテレビ放送 ～スーパーハイビジョン～」
日本放送協会 栗田 泰市郎 氏
- 最新動向「未来のディスプレイ機器に対するニーズ調査結果」
JEITA TT プロジェクト 植平 茂行 氏
- 最新動向「4K TV を支えるディスプレイデバイス技術」
ソニー株式会社 岩城 一郎 氏
- 特別講演「究極のテレビ、究極の画質」
津田塾大学 デジタル・メディア評論家 麻倉 怜士 氏

2. 高精細・高解像・3D 表示の人間工学シンポジウム

慶應義塾大学大学院 SDM 研究科にご協力いただき、12月18日（水）にシンポジウムを開催しました。会場の慶応大学日吉校舎協生館3階システムデザイン・マネジメント研究科 CDF 教室は、180インチ・4K の立体視映像を中心とした先端的なディスプレイ設備を有する世界最先端の CDF（Concurrent Design Facility）を備えた施設です。約90名の来場者には3D メガネ着用で4K3D 映像を体感しながら講演をお聴きいただきました。



会場風景



3D メガネ着用中

プログラム

- はじめに：人間工学専門委員会 久武 雄三 委員長（株式会社ジャパンディスプレイ）
- セッション1：3D 映像の人間工学（座長：法政大学 小池教授）
 - * 3D 視聴による眼精疲労防止ガイドラインの標準化：産業総合研究所 氏家 弘裕 氏
 - * 3D コンテンツの視差量の分析：成蹊大学 窪田 悟 教授
- セッション2：高精細・高解像の人間工学（座長：シャープ株式会社 富沢 一成 氏）
 - * モバイルディスプレイに求められる精細度：JDI 久武 雄三 氏
 - * 解像度と実物感：日本放送協会 正岡 顕一郎 氏
 - * 高精細映像の奥行き感の要因 日本放送協会 對馬 淑亮 氏
- セッション3：4K3D 映像を中心とした CDF システム（座長：JDI 久武 雄三 氏）
 - * 超高精細映像伝送のための新規光インターコネクットの提案：慶応大学 当麻 哲哉 准教授
 - * 4K3D コンテンツ制作について：株式会社 NHK メディアテクノロジー 内藤 一輝 氏
 - * 新規フォトリソポリマーがもたらす液晶ディスプレイの革新：慶応大学 多加谷 明広 教授

なお、当部会では、人間工学専門委員会主催で毎年3月に「フラットパネルディスプレイの人間工学シンポジウム」を開催しています。2014年は3月7日（金）に成蹊大学で開催予定です。詳細は JEITA ホームページに掲載いたします。